

市民の命くらし守り抜く 6名の市議団を 日本共産党

松戸市議選では、巨大開発優先の市政を変えるため、6人全員を議会に送るために全力でがんばります。 県議会議員 みわ由美

住民と共に 願い実現の力

党松戸市議団と共に、「市内小中学校にエアコン設置」「初のコミュニティバス運行」「学童保育料引下げ」「市立総合医療センター母子周産期医療の県補助」「常盤平・八柱駅エレベーター設置」「国道に信号と横断歩道設置、信号スクランブル化」など市民と力を合わせ実現。

住民と共に 政治を動かす力

松戸市内通学路への「大型パチンコ出店計画問題」では、最後まで住民に寄り添い、県議会で請願を部分採択させました。残土産廃などの環境問題では、南は鋸南から北は成田まで10市町を奔走し住民と共に悪徳業者と対峙。県議会でも、環境守れと6本の請願を全会一致で採択させました。



エアコン設置
は待ったなし

エアコン未設置の県立松戸南高校の教室を視察するみわ県議

来春の県議選で5期目に挑戦！
県民の暮らし第一の千葉県へ

県議会議員 走る政治家

みわ由美

HP、ツイッター

みわ由美 検索



「安倍9条改憲ノー」「憲法が生かされる政治を」と新成人に訴えた成人式宣伝（八柱駅前）。



(2016.2.6)

「コミュニティバスを運行して、という切実な要望（4千筆の署名）を、八ヶ崎の住民といっしょに市長に伝えるみわ県議。



(2017.7.28)

悪臭がする再生土（元は産廃）の埋立現場で住民と県交渉（右から2人がみわ県議）。その後、基準の2.5倍超の鉛フッ素等が判明。

ちば民報

2018年10・11月号外(発行)ちば民報社
千葉市中央区新千葉3-16-15 ☎043(241)4251
日本共産党千葉県委員会の政策を紹介します

1955年京都市生まれ。立命館大学産業社会学部卒業。県議(4期)。文教、県土整備常任委員を歴任、現在は環境生活警察常任委員。現在、党松戸市災害対策本部長。趣味：ギターの弾き語り。